

心ひとつ手をつなごう 守ろう人権・平和・健康・みんなの暮らし  
建て替え目前みんなで作ろう新鳳クリニック

# 第31回耳原鳳健康まつり

2023年10月29日(日) 午前9:30~午後14:30雨天中止

●耳原鳳クリニック駐車場 ※会場は駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。

抽選券つき参加協力券1枚200円販売申込!  
 1 10,000円商品券3本  
 2 ギフトカタログ10本  
 3 お米2kg 30本 ※その他も多数ご用意しています  
 抽選会は14:00~14:30の間です。当選は会場の方のみ有効です  
 雨天の場合、後日抽選のみ行い、結果を発表します。

中央ステージ  
 ●和太鼓サークル 拓  
 ●保育園児の歌  
 ●ハーモン 漢さくらんば  
 ●吹奏楽演奏  
 ●チアダンス CANDIES  
 ●コスプレイヤーパフォーマンス

健康コーナー  
 ●お薬相談  
 ●無料歯科相談  
 ●介護福祉相談  
 ●健康チェック（血圧・体温計）  
 ●骨密度検査（20g 500円）  
 ●フレイルチェック

模擬店  
 ●スーパー ポールすくい  
 ●バーグル・ミルクパン etc  
 ●掲出し物バザー  
 ●新鮮地場野菜市

キッズ企画  
 ●マーフリックラボおり 近畿大学HART  
 ●子ども針金細工教室

●主催 第31回耳原鳳健康まつり実行委員会 ●連絡先 072-275-0801(代)

オリジナル  
手ぬぐいを  
販売します！  
お楽しみに！

私は2017年にヘルパーとして勤務していました。鳳クリニックは老朽化が目立ち、驚きましたが、お隣のひまわり保育園の子どもたちの元気な歌声を聞き、私たちは元気をもらっています。

ヘルパーステーションともうず鳳には登録ヘルパーを含む25人が在籍しています。

訪問介護サービスは利用者の自宅に訪問し、食事や排泄、入浴などの身体介護、掃除や洗濯なども行っています。

高齢者やその家族が安心して暮らすには、医療と介護サービスは不可欠ですが、その担い手確保が大変です。みみはらグループではこれから介護職として活躍される方を養成しようと、介護職の資格が与えられる介護職員初任者研修を開催し、私たちも講師として参加しています。毎年、受講生がみみはらグループに就職し、活躍しています。

いよいよ鳳エリア建替ともうず鳳



え工事がスタートします。介護を担当するケアマネージャーや訪問看護、ヘルパーと医療を担う訪問診療部が同じフロアになります。医療と介護の在宅部門がより一層連携しやすくなります。地域や友の会の皆さんと共に歩み、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、「地域に耳原があるて良かった」と感じていただける事業を目指していきたいと思います。

(ヘルパーステーション ともうず鳳 松谷 直美)

監事出席 人数	開催日時	8月理事会 <概要>	理事会報告	
			◆報告	◆主な内容
3人	8月24日(木) 午後7時51分	●拡大常任理事会、各種委員会概要	●新型コロナウイルス感染症の対応について	●拡大常任理事会、各種委員会概要
		●健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ	●みみはら2030年の樹の進捗報告	●健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
		●無料低額診療の各事業所実績	●ハラスマント防止規程策定について	●無料低額診療の各事業所実績
		●臨時評議員会開催された。	●協議確認事項	●臨時評議員会開催された。
		●2023年7月度決算		●2023年7月度決算

「研修医育成」に  
皆さまの声、を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。  
(耳原総合病院研修委員会)

## 「みんなで描こう タバコのない健康な街へ」

### 入賞作品紹介 最終回



#### ●耳原総合病院病院長賞

森下 凌さん

《絵画》「けむりがない明るい世界」

タバコがない世界なので、けむりが出てないから植物があたり一面に生えている明るい世界をかく時に、けむりが出ない世界に変わってほしいと願いながらかいた絵です。

#### 審査員のコメント

タバコの害から環境問題までいろいろなテーマを連想させてくれる作品です。何より色づかいがきれいで全体のバランスがすてきです。

- オーディエンス賞
- 公益社団法人堺市文化振興財團常務理事賞

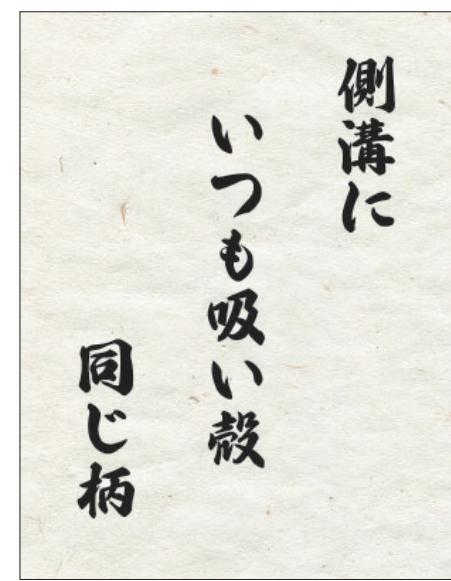
淡路 順子さん

《川柳》「側溝に いつも吸い殻 同じ柄」

生ゴミの日に家の前(周辺)をそうじしている時に、たばこの吸い殻を拾おうとして側溝に落としてしまった事がきっかけです。この吸い殻が下水に行ってどのような道をたどるのか皆が考えるきっかけになればと思います。

#### 審査員のコメント

喫煙は自身と周りの人たちに健康被害をもたらすのみならず、環境汚染にもつながるというメッセージが込められています。同じ柄ということばで、同じ人が繰り返しポイ捨てしていることを示していますが、側溝で見つけたものが家の灰皿のものと同じであることに気付いたとも考えられて、想像が膨らみます。



## 新たな歴史に向かつて 鳳エリア建替え運動の道

(7)